

# 平成 30 年度事業計画書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 シニア自然大学校

## 1. シニア自然大学校を取り巻く情勢と活動予算への決意

30年度の自然教育部門講座本科の応募人員は176名となり定員未達に終わった。シニア層のニーズの多様化や高齢化の伸展があるが、ニーズに見合った対応が急務である。

CITY カレッジ部門では、シニア世代万人の課題である健康問題を取り上げ、新設講座「**みぢかな自然と健康**」を10月から立ち上げる。府下の他校との競合激化の状況から、講座内容に質の向上を図り差別化を図っていききたいと思う。

地域貢献活動部門と調査研究部門が連携して、子どもの自然環境教育の一環として、新規事業「**小学校自然ふれあい教室**」を立ち上げる（詳細は社会貢献活動事業計画 P24 に記載）。この活動は認定 NPO 法人の活動に照らして有意義なものであり、将来の事業拡大を期するものである。活動の趣旨に賛同し、支援を得るために「小学校自然ふれあい教室基金」を創設し、会員・一般市民・企業等への募金活動を推進する。

全体として、30年度の収支の状況を踏まえ、経費削減の推進と効率運用を図っていく。

## 2. 基本重点施策と活動予算

シニア自然大学校の基本重点施策として下記の内容を実施する。

①自然教育部門講座本科の募集定員確保に組織をあげて対応する。

未達要因を分析し、刷新委員会を発足させてニーズに適合した講座へと体制の刷新をはかる。

②理事の補充について、理事の員数削減を掲げて発足した昨年6月1日の理事の員数は14名、その後、1名が健康上の理由により退任したので現在は13名である。その1名の補充と組織の要である事務局に理事が不在であること、渉外・広報部門を強化する必要等から理事の補充募集を実施した。

③中期計画について、1昨年策定された中期計画を基本として継続遂行している。

④創立25周年記念行事について、記念誌の発行、記念式典及び記念行事を開催する。

⑤事業予算 (単位：千円) (前年度実績比%)

経常収益	106,000	98
経常費用	106,400	100
経常増減額	△400	—
会員	1800名	100

(各事業重点活動詳細は添付資料参照のこと)